

(仮称) 島松地区複合施設 愛称募集 最優秀賞一覧

番号	氏名・ペンネーム	愛称	由来
1	松井 ひかり さん	しまのわ	しまのわ は、島松地区の中心として、多世代が集い、憩い、交流できるにぎわい拠点です。「わ」には、人と人との“輪”、地域の“和”、未来へつながる“環”の意味を込めました。世代をこえて支え合い、笑顔が広がる場所を目指します。
2	土岐 由香 さん	しまのわ	島松の“島”と、人と人とのつながりを意味する“輪”を組み合わせました。子どもから高齢者まで多世代が集い、交流し、地域の絆が広がる場所になってほしいという想いを込めています。島松の未来へとつながる温かな拠点となることを願っています。
3	斉藤 桂太 さん	しまのわ	「しまのわ」は、島松に人と人の輪が広がり、多世代が集い、憩い、交流が生まれるにぎわい拠点となる願いを込めた愛称です。「わ」には人の“輪”、地域調和の“和”、未来へと続く“環”の意味を重ねました。花のまち恵庭のように、世代や立場を越えてやさしくつながりが広がる場を表現しています。ひらがな四文字とし、「えにあす」との統一感も大切にしました。
4	金澤 結香 さん	しまのわ	恵庭市の他の既存施設の愛称は、はなふる、いざりえ、えにあす、かしわのもり等、ひらがな中心で柔らかい響きが特徴だと感じました。島松複合施設もそれを踏襲し、覚えやすくて親しみやすい響き、かつ、駅前で多世代がつながる「輪」と8年度から共用開始の「8」をかけて、しまのわを提案しました。
5	木澤 悠太 さん	しまのわ	「しまのわ」は、「島松」の“しま”と、人と人とのつながりを表す“輪（わ）”を組み合わせた名前です。子どもから高齢者まで、さまざまな世代の人が集まり、交流や学びを通して地域のつながりの輪が広がっていく場所になってほしいという思いを込めました。覚えやすく親しみやすい響きで、地域の人に長く愛される施設になることを願い名付けました。
6	近藤 美穂 さん	しまのわ	島松+輪=「しまのわ」市民の輪、交流が広がってたくさんの人が集まる場所になるように、という思いを込めました。
7	富沢 美幸 さん	しまのわ	島松+人の「輪」 多世代交流の意味を分かりやすくしました。
8	長尾 春美 さん	しまのわ	島松の「しま」に、和（なごみ）、輪（つながり）、話（にぎわい）の3つの「わ」を込めました。赤ちゃんからお年寄りまで、多世代が大きな「輪」になって集い、心地よい「和」やかな時間を過ごしながら、楽しい「話」に花が咲く。そんな島松地区の新しい「にぎわいの中心」になってほしいという願いを込めて名付けました。
9	ペンネーム： しゅんちゃん さん	しまのわ	人がつながり、笑顔の輪が広がる場所という願いを込めた名前です。
10	ペンネーム： わっさ さん	しまのわ	地域の名前から取り、地元の人が自然に親しめる響きにして人がつながる「輪」と心が和む場所という「和」をつなげました。
11	ペンネーム： ゆあ さん	しまのわ	島松の“しま”+人と人の“わ”
12	ペンネーム： ずんぼわん さん	しまのわ	島松にこの施設ができることによって、人々の輪が広がりますように。